

## チャ デ ブグレ (Cha de Bugre)

一般名：Porangaba , Café do mato , Café zinho , bugrinho , Cha de frade , louro salgueiro  
他

Botanical Name : *Cordia salicifolia* Cham

Family : Boraginaceae (ムラサキ科)

地理的分布：南アメリカ (ブラジル、パラグアイ、アルゼンチン)

ブラジルではミナス・ジェライス州、バイーア州、アクレ州、ゴイアス州などに分布。

チャ デ ブグレとは

南米に分布する (ブラジル、パラグアイ、アルゼンチン) 高さ 8~12 メートルのムラサキ科の木で幹は直径 30~40 cm、無毛の葉と白い花、赤みがかったコーヒー豆に似た果実を実らせる。この果実はコーヒーの代わりに焙煎されて利用されており、「Café do mato」とも呼ばれ、伝統的に用いられている。本邦においては、効果効能を標ぼうしない限り全草が食品の扱いを受ける。日本人研究者がこの植物の機能性に着目して研究をすすめている。

この植物は、ブラジルでは「*Cordia salicifolia*」アルゼンチンとパラグアイでは「*Cordia ecalyculata*」に分類される。

### 1. チャデブグレエキス末 4:1

チャデブグレの葉と茎を熱水抽出し、マルトデキストリンと混合して噴霧乾燥したものです。マルトデキストリンはトウモロコシ由来のものを用いています。

最終製造国：ブラジル

